2024 年 11 月 20 日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

南山大学社会倫理研究所第 18 回社会倫理研究奨励賞 授賞式・受賞記念講演会開催のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学社会倫理研究所では、下記のとおり第 18 回社会倫理研究奨励賞授賞式・受賞記念講演会を開催いたします。「社会倫理研究奨励賞」とは、さまざまな領域で研鑽する若手研究者による社会倫理関連の研究論文に与えられる賞であり、若手研究者の発掘・育成に寄与すべく 2007 年度より開始されました。こうした社会倫理領域に関する賞は、「人間の尊厳のために」を教育モットーに掲げる南山大学の精神を体現した、全国的にも数少ないものだと自負しております。このたび、宮本太郎氏（中央大学法学部教授）を選定委員会委員長としてお迎えし、厳正な審査の結果、第 18 回の受賞論文が決定致しました。この受賞を記念し、式典を開催する運びとなりました。

つきましては、取材、報道にてお取り扱いいただき、広く一般に周知いただければ幸いです。

なお、恐れ入りますが、取材につきましては、事前に南山大学社会倫理研究所までご連絡をお願いいたします。

記

【受賞結果】

社会倫理研究奨励賞

授賞論文：「ショックを用いる貧困表象の道徳的・政治的悪性に関する一考察：貧困表象への留意のために」

著者：木山 幸輔氏（筑波大学 人文社会系 助教）

審査員賞

授賞論文：「人格的ケア関係」としての夫婦における親密性と平等性：「フェミニズム正義論」を手がかりとして」

著者：岡田 玖美子氏（大阪大学大学院 人間科学研究科 助教）

【授賞式・受賞記念講演会】

日 時： 2024年12月7日（土）14時00分～17時00分（予定）

会 場： 南山大学本部棟3階第3会議室

演 題： 「ショックを用いる貧困表象を考える参照項として
——範例、アナロジー、道徳・政治・法哲学」

講演者： 木山 幸輔氏（筑波大学 人文社会系 助教）

プログラム： 開会の辞

学長挨拶 南山大学副学長 星野 昌裕

所長挨拶 南山大学社会倫理研究所所長 MERE, Winibaldus Stefanus

全体講評 第18回社会倫理研究奨励賞選定委員会委員長 宮本 太郎氏

賞状・副賞授与

社会倫理研究奨励賞受賞記念講演（15時頃開始予定）

閉会の辞

連絡先： 南山大学社会倫理研究所事務室

phone： (052)832 - 3111（代表） e-mail： ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp

詳しくは <https://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/ja/activities/event/028814.html> を
ご参照ください。

以上